

行雲流水

No. 3 5 7 令和5年12月8日発行

ひとつのことを成し遂げるために

校長 寒河江 正人

「創立30周年記念講演会」でお招きした登山ガイドの飯澤政人さん。

生徒諸君は、飯澤さんのどんな言葉が心に残ったのかなあ？

私は、「**まず、自分の脱いだくつをそろえる。**」という言葉が印象的だった。

「えっ？ そんなことなの？」と思う人もいるだろうが、
私には、そういう「**あたりまえのこと**」が、まだまだ足りていない気がするからだ。

あの日以来、**自宅の玄関のくつは、きちんとそろえる習慣**を心がけている。
職員玄関の**来客用スリッパも、きちんとそろえる習慣**を心がけている。

「**何か、一つのことを成し遂げる**」ということは、
日常の小さな小さな「一つのこと」を地道に積み上げていくことが必要。

14年前の2009年（平成21年）に、家族で**富士山に挑戦**した。
簡単に登れると思っていた私にとっては、苦しい苦しい登山になった。
声をかけ合い励みながら、一步、また一步、少しずつ少しずつ高度をかせぐ。
標高が高くなるにつれて、酸素濃度が低くなり、思うように足が上がりなくなる。
やっとやっとのことで、ようやく**頂上に立てた「達成感」**は、忘れられない。

目指す山頂(目標地点)に到達しようと志す者には、
その「小さな一步」「確かな一步」の積み重ねを軽んじることはあり得ない。
その延長線上にこそ、「何か、一つのことを成し遂げる」が見えてくるのだ。

生徒諸君は、今、目指す山頂（目標地点）への到達に向けて、
きっと、その「**小さな一步**」「**確かな一步**」を積み重ねているはずだ。

人生に、たやすく登れる山は、ない。たやすく登れる山に、達成感・成長はない。
きみの人生の日常の小さな小さな「一つのこと」を地道に積み上げていこう。